市長記者会見記録

日時：２０２２年５月３０日（月）１４時００分～１４時１７分

場所：第３庁舎１８階　講堂

議題：令和４年第３回川崎市議会定例会議案等について（総務企画局、財政局）

　　　市政一般

＜内容＞

≪令和４年第３回川崎市議会定例会議案等について≫

【司会】　ただいまから市長記者会見を始めます。本日の議題は、「令和４年第３回川崎市議会定例会議案等について」となっております。初めに、議題について福田市長から御説明いたします。市長、よろしくお願いします。

【市長】　それでは、令和４年第３回市議会定例会の準備が整いまして、６月６日月曜日招集ということで、本日告示をいたしました。今定例会に提出を予定しております議案は、条例９件、事件１１件、補正予算２件、報告１４件でございます。

　今議会の主な議案といたしまして、議案第８１号及び議案第８２号の補正予算でございます。このうち、一般会計の補正予算の内容といたしましては、新型コロナウイルス感染症対策を講じるものや、脱炭素先行地域に選定されたことによる取組などでございまして、補正額は総額で４７億円余を増額するものでございます。

　なお、議案第８１号のその１補正につきましては、国の施策に基づき、低所得の子育て世帯への支援の取組を急ぎ進める必要があることから、他の議案と分割し、先行議決をお願いするものでございます。

　いずれの議案につきましても、川崎市政にとって重要なものばかりであります。市議会の皆様とは真摯に議論させていただき、両輪となって市政を運営してまいりたいと考えております。

　私からは以上です。

【司会】　それでは、ただいま御説明しました議題についての質疑応答に入らせていただきます。なお、市政一般に関する質疑については、本件の質疑が終了後、改めてお受けいたします。進行につきましては、幹事社様、よろしくお願いいたします。

【時事（幹事社）】　幹事社の時事通信社です。よろしくお願いします。今回は、国の臨時交付金とか国庫補助金なんていうのが主な財源なのであれですけど、臨時交付金ということで、かなり多岐にわたっています。その中で、特に市長がこれはと思うよ

うな事業があれば教えてください。

【市長】　そうですね……。

【時事（幹事社）】　ちょっと多岐にわたり過ぎているかなという印象も。

【市長】　かなり多岐にわたっているので、どれがというのもなかなか言いづらいんですが、額は少ないですけれども、コミュニティー交通のところも、「しんゆりシャトル」のところなんですが、モデル的にこういうこともやってみようというところに、少し未来に向けての話をさせていただいているものですとか、あるいは、同じ公共交通の話で言うと、タクシーに対する、大変痛んでおりますので、そんなところへの補助という形も少しさせていただいているところ。それから、これは市民の皆様との直接的なということではないですけれども、市役所内のテレワーク環境をしっかり整えていくということも、市民にサービスをしっかり提供していくための持続可能性、あるいはコロナによる緊急対応もちゃんと見据えた動きであるので、こういったところに活用させていただくのはとても大事なことだとは思っています。

【時事（幹事社）】　ありがとうございます。

　私からは以上です。各社、どうぞ。

【司会】　よろしいですか。

【朝日（幹事社）】　朝日新聞です。各種商品の値上げが続いて、輸入の原材料も値上げということで、県内の一部自治体でも補正で対応している自治体があるんですけれども、給食費の部分、川崎市さんの場合は、そういった物価上昇に対応して、今回の補正で手当てした部分ってあるんでしょうか。

【市長】　物価上昇のことでは直接的にはございません。

【朝日（幹事社）】　そうですか。ありがとうございます。

≪市政一般≫

【司会】　続きまして、市政一般に関する質疑をお受けいたします。進行につきましては、幹事社様、よろしくお願いいたします。

≪差別防止対策等審査会の答申への対応について≫

【時事（幹事社）】　まだ答申は受けられていませんけれども、ヘイトの絡みで、リンクもアウトという、リンク先で分かるという、特定、ちょっと画期的だったかなという気はしますけれども、それについて市長はどういうふうに。まだ答申をもらってないからあれですけれども。

【市長】　報道ベースでの話は聞いておりますので、答申が出た段階でしっかりと精査して対応していきたいとは思っています。

【時事（幹事社)】　各社、どうぞ。

≪東扇島東公園の大型バス放置について≫

【東京】　東京新聞なんですけれども、東扇島東公園に大型バスが放置されてから今週でちょうど１年を迎えると思うんですけれども、大分いたずらなんかも受けていて、インターネット上では、やっぱり川崎って治安が悪いんだねという書き込みもされたりとか、大分、市のイメージダウンにもつながっているのかなと思うんですけれども、市長の名前での措置命令を出すとか行政代執行を行うとか、そういうスケジュール的な部分も含めて今後の対応、どうお考えになっているのかという部分と、また、この間、いろんなメディアが報道していることで、ますます車体へのいたずらの被害が増えているという見方もあるんですけれども、夜間のパトロールですとか、何か考えていることがあれば教えていただけたらと思うんですけれども。

【市長】　ありがとうございます。まず、公園利用者の皆さんに対して、非常に治安の悪いような環境をお見せしてしまっている状況については、大変申し訳なく思っております。一方で、この原因は誰かと言ったら、放置した人そのものでありますから、このこと自体、許されない行為だと思います。これを野放しにしてしまうと、こういうことが頻発しかねないことになりますので、断固とした措置を取っていきたいと思っていますし、法的措置についてもしっかりと検討しているところでございます。

【東京】　スケジュール的にはいつぐらいということは、まだお考えにはなってない……。

【市長】　いろいろ検討はしておりますけれども、なるべく速やかにとは思っておりますが、いろいろ段階がございますので、それを考慮の上と考えております。

【東京】　公園のパトロールみたいなものは、今のところは考えていらっしゃらないですか。

【市長】　これまでも、夜間のパトロールも含めてしっかりやっております。これは本当に特異な例というか、そのことによってまた税金をかけていくのも、これまた市民理解を得られないと思っていますので、この問題を早く決着させることが大事なことだとは思っています。

【東京】　ありがとうございます。

≪令和４年第３回川崎市議会定例会議案等について≫

【共同】　共同通信です。話が戻ってしまって恐縮なんですけれども、補正予算案でタクシーへの補助があったと思うんですけれども、今回の予算を見ると、金額的にも限定的な補助なのかなと思うんですけれども、なぜ今になってこういった予算を盛り

込んだかというところと、厳しい状況が今後も続いていくと思うんですけれども、今後も継続的に業界を支援していくおつもりなのか、その辺をお聞かせ願えますでしょうか。

【市長】　タクシー事業者の皆さんにとっては、一番厳しい状況の中でも交通環境を維持していただいたということ、そのとき、空車率が非常に大きかったことを少し補助していくことが必要かなという形で、現在のタイミングに至ったということでございます。これはいつまで続くのかと、あるいは原油の高騰だとかという、燃料費の高騰だとかというのは、これは交通事業者の皆さんだけじゃなくて、全ての国民に大きく関わってくる話でありますので、そのことについては、やはり国全体の話としてやっていかなければならないとは思っております。

【共同】　ありがとうございます。

≪新型コロナワクチンの廃棄について≫

【ｔｖｋ】　ｔｖｋです。モデルナワクチンの廃棄が３万回分を超えてしまうんじゃないかと聞いたんですけれども、そういった中で４回目も始まるという、捨てるものもありつつ、また次もやらなきゃいけないということに対しての受け止めと、国から必要以上にワクチンが供給され続けてきたという背景もあると担当課から伺ったんですけれども、実際、国とのやり取りとかというところに問題を感じてきたのかというのを教えていただきたいです。

【市長】　まず、これは最初からの話ですけれども、これぐらいのワクチンを希望しますということと届くもの、そして受けるというのがそれぞれ時間的なラグがあるので、そういった意味ではワクチンをショートさせてしまってはまずいので、ある程度、一定確保してこなくちゃまずいと。だけど、意外とワクチンの種類によっては、ファイザーのほうがいいという嗜好の問題もありますし、そういったところから、いずれこういうことになるなというのは、当初から一定程度は想定しておりました。そういったところの国との調整は必要だということも国にもお伝えしておりましたけれども、全体としては調整するのが非常に難しいというケースから、全国でこういうケースが発生しているんだと理解しています。

【ｔｖｋ】　その中で、川崎は３万を超えるんじゃないかという見込みに関しての受け止めはいかがですか。

【市長】　これが多いか少ないかというのは、全体のパイの中で考えて、なかなか判断が難しいと思っています。例えば、３万回分（※補記）という、例えばロットの数で見ますと、それはすごく多いとは思いますけれども、ただ、それが調整可能なのか

ということになると、現実問題としてはなかなか難しいという、そういう難しさはあると思っています。

【ｔｖｋ】　ありがとうございます。そういった中で、もうそろそろ接種券が届いた人から４回目が始まるという中だと思うんですけれども、４回目に向けての準備だったり進め方についてはどのようにお考えですか。

【市長】　４回目の接種についてもしっかり進めておりますし、これまでのノウハウが大分たまってきていますし、かつ４回目は対象者が、扱いが自治体ごとに少し違うというやり方が、接種券の配り方もそうですし、その中で最善な方法を模索して準備を進めているところです。

【ｔｖｋ】　ありがとうございます。

≪新本庁舎整備による市民のメリットについて≫

【読売】　読売です。市庁舎も新庁舎が大分出来上がってきて、細部も固まりつつあると思うんですけれども、市民から見たメリット、使い勝手の向上とか、その辺を改めてお聞かせください。

【市長】　実際に市役所を利用する市民の方がどれぐらいいるかというと、区役所がほとんどですから、そんなに多くない。そういった意味では、市民に対する直接的なというよりも、むしろ間接的に、これこそ直接的なのかもしれませんが、新庁舎を造る大きな目的は災害時のための、非常にレジリエンスの高いものに造ってありますので、そういった意味ではしっかりと市民の命を守る拠点になりますので、広くメリットがあると思っていますし、私たちの働き方そのものも変わりますので、例えば、今、オンライン手続みたいなことは進めていますけれども、さらなるＤＸ化を進めていくことによって、私たちの仕事のやり方、そして市民の皆さんへの行政サービスの提供の仕方が、これからの本庁舎の移転に伴ってできるものは大分できてくると思いますので、そういったメリットはあるかと思います。

【読売】　細かな話で、市長さんの執務スペースは変わるんですかね。シャワー室はないとは思うんですけれども。

【市長】　基本的には、今の状態と全く変わらないと思います。面積的にも変わらないですし、設備的にも変わることはないと考えています。

【読売】　ありがとうございます。

【司会】　それでは、以上をもちまして市長記者会見を終了いたします。ありがとうございました。

（以上）

・この記録は、重複した言葉づかい、明らかな言い直しや質問項目などを整理した上で掲載しています。

（お問合せ）川崎市役所総務企画局シティプロモーション推進室報道担当
電話番号：０４４（２００）０３１２